

第4回尾張旭市子ども・子育て会議会議録

- 1 開催日時
平成26年5月19日（月）
開会 午後1時30分
閉会 午後3時00分
- 2 開催場所
尾張旭市役所 3階 講堂2
- 3 出席委員
林陽子、小川百合子、石原靖章、加藤多美、秋田啓子、田中善廣、藤田佳代、
村瀬美根代、竹門宏美、恩田路子 10名
- 4 欠席委員
金森俊輔、近藤信綱、秋山浩二、高橋秀雄 4名
- 5 傍聴者数
0名
- 6 出席した事務局職員
健康福祉部長 若杉浩二、健康福祉部次長 吉田和仁、
こども課長 萬谷久幸、こども課長補佐兼こども未来係長 松原芳宣、
こども課こども係長 浅野哲也、こども課保育係長 加藤貴之、
子育て支援室係長 二村真帆、こども課こども未来係 田中友美子、
株式会社ぎょうせい主任研究員 馬場敏
- 7 議題等
 - (1) 「量の見込み」について
 - (2) アンケート調査結果について
 - (3) 事業計画骨子について（施策の体系）
- 8 配布資料
 - ・子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」について・・・資料1
 - ・子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査（就学前児童保護者用）結果報告書・・・資料2-1
 - ・子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査（小学生児童保護者用）結果報告書・・・資料2-2
 - ・施策の体系（検討案）・・・資料3
 - ・市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き・・・参考資料1
- 9 会議の要旨

健康福祉部長	<p>皆さま こんにちは。</p> <p>本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、ただ今から、第4回尾張旭市子ども・子育て会議を開会させていただきます。</p> <p>わたくしは、健康福祉部長の若杉と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>なお、本日の会議につきましては、お手元に配布しております次第に従い進めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>今現在の出席委員は9名でございますので、過半数の出席をいただいております。従いまして、本会議条例第6条第2項の規定による定足数に達しております。</p> <p>なお、この会議は公開しておりますので、会議の傍聴席を設けてございます。また、会議録を作成し、市ホームページ等で公表をしておりますので、委員の皆さまにはご了承いただきますようお願い申し上げます。</p> <p>本会議の委員の変更について報告します。</p> <p>新たな委員として、尾張旭市小中学校長会の石原靖章さま、尾張旭市民生委員児童委員協議会の田中善廣さまです。</p> <p>それでは、本日の議題に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(資料の確認)</p> <p>それでは、以降の会議の進行につきましては、議長であります林会長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。</p>
会長	<p>それでは、これより、私が会議を進めてまいりますので、委員の皆さまよろしくお願いいたします。</p> <p>議題に入る前に会長代理の指名がございますので事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>本会議の会長職務代理者の山田委員が辞職されましたので、職務代理者の指名を会長からお願いしたいと思います。</p>
会長	<p>石原靖章委員を指名したいと思います。</p>
石原委員	<p>承知しました。どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
会長	<p>それでは、早速議題に入りたいと思います。</p> <p>議題(1)では、アンケート調査の結果に基づく、「量の見込み」となります。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料1により説明)</p>

会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>参考資料として配布した国の手引き、アンケート調査のニーズの量、項目によって2倍3倍、10倍を超えるものもあります。</p> <p>ただ今の事務局の説明について、何かご質問があればお願いいたします。</p>
加藤委員	<p>現在、尾張旭市内の幼稚園で一時預かり保育事業を行っている園はいくつあるのですか。</p>
事務局	<p>幼稚園の数値は把握しておりません。どこの幼稚園も行っているようですが、正確な実態は把握しておりません。</p>
会長	<p>把握しにくいのですか。</p>
事務局	<p>幼稚園との交流がありませんので調査はしておりません。今後は、幼稚園側とも連絡を取りながら進めたいと思います。</p>
会長	<p>この数値、ニーズ量で進めるのは、難しいと思います。補正をかける必要がありますが、その際、幼稚園の一時預かり等の実態等について把握できていると良いと思います。</p> <p>その他はいかがでしょうか。</p>
加藤委員	<p>幼稚園で満3歳児を預かっていると思いますが、そうしたケースについても把握しておく、連携時の参考になるのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>満3歳児の預かりについても、調査したいと思います。</p>
会長	<p>続きまして、議題(2)の前に、先に退出される加藤委員に発言をお願いします。</p>
加藤委員	<p>就学前のアンケート調査報告書を事前に見ましたが、自由記述を掲載しており、とても良いと思いました。</p> <p>数値で測れない部分が自由記述には詰まっていると思います。「量の見込み」は算出できますが、質は何をどう反映していくのでしょうか。保育園関係者にとって、自由記述の内容は痛烈で、量だけでなく質の面で衝撃を受けながら読みました。</p> <p>事務局にお願いしたいのですが、自由記述の各回答が該当する設問を示して欲しいです。母親たちが忙しい中、アンケートに回答するのは、それが一番の関心事だからだと思います。本調査の肝になるはずで、良い意見が多く出ており、反映しないわけにはいかないと、思います。計画に載せていける部分があるのではないのでしょうか。</p> <p>自由記述 P. 15 下から7番目（「アンケート対象の子どもではありませんが・・・」の書き出しの部分）が保育者にとって、一番痛烈な回答です。</p>

加藤委員	<p>保育者の対応1つで「無理心中」という言葉が出てきており、そこまで保護者を追い詰めてしまった。そういうお母さんがいた事実を、現場の私たち全員が知らなくてはなりません。対応した保育者を責めるのではなく、様々な状況の中でのことですが、その時のお母さんの心持ち等は、絶対に保育者1人1人が知るべきであり、知った上で、市が、各保育者が、保育園が、児童館が、それぞれどうするのかはその後のことだと思います。まず知らなければなりません。ここには、たった一言ですが「虐待」「無理心中」と書かれています。この言葉を絶対に見逃してはいけません。たまたま無作為抽出でこのお母さんが選ばれ、自由記述に書けたのは、本当に良かったと思います。</p> <p>子育てだけでなく、命を大切にするという視点からも計画を考えていきたいです。弱さを持っている方や困難を抱えている方に寄り添える行政・市であれば、市民全体に寄り添っていると言えると思います。子どもに関わる大人が、話し合っていけると良いのではないのでしょうか。前回の計画と照らし合わせて計画を策定し、計画骨子案も出ています。現段階では、内容はまだ抽象的ですが、今後、詰めていただきたいです。自由記述を読んで終わりにせず、率直な意見を大切にしたいです。</p> <p>保育料の公定価格が示されましたが、新制度移行後、保育園は経営的に楽になるのでしょうか。議論が数多く出ていますが、公定価格に基づいた試算から、運営が楽になる部分、厳しくなる部分ともあります。提示された教育保育要領を読むと、今まで児童福祉として行っていた部分をどうするのが大きな課題だと思います。</p> <p>量の見込みだけでなく、質の議論も深めていく必要があるのではないのでしょうか。質が伴わないと、子ども子育て会議としての役割は果たせません。教育をどう捉え、どう読みとくか。読み違えてはいけません。市で7月前後に各施設への意向調査が実施されるそうですが、幼稚園と保育園をどうするのですか。</p> <p>平成29年度に、消費税が10パーセントになりますが、予算が不足する中での事業スタートだと説明がありましたが、どうなるのですか。</p>
会長	<p>加藤委員の保育への情熱が伝わりました。今の発言内容を心に留めながら、次の議題に進めたいと思います。</p> <p>続きまして、議題(2)になりますが、アンケート調査報告書です。最終形になるかと思っています。</p> <p>事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	(資料2-1、2-2により説明)

会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今の事務局の説明について、何かご質問があればお願いいたします。</p>
加藤委員	<p>尾張旭市としては、認定こども園がなくもいいとお考えですか。</p>
事務局	<p>認定こども園については、市の方からやってくださいというより、事業者が各自で考えることであり、市から認定こども園が良いから作りましょう、と進めることではないと考えております。</p>
加藤委員	<p>充分わかっていますが、尾張旭市は遅れていると思います。公私の連携が弱く、保育園と幼稚園の連携、情報交換もほとんどありません。保育園もようやく昨年度から始まりました。今後、尾張旭市の保育はどうなるのでしょうか。当方の方針としては平成27年度4月から認定こども園に移行するとは思っていません。財政が確定していないまま進めるのも疑問です。</p> <p>教育法の観点からも考えています。幼稚園と保育園の子どもに、学習面で差が出ています。「もっと教育に力を入れて欲しい」という要望があり、それが一般的な考えだと思います。「何かができる」「何かを書ける」「読める」「問題が解ける」「テストで良い成績が取れる」ことが、一般的に教育と捉えられていますが、我々保育園関係者は「保育の中にも教育はある」と思っています。年齢に応じた教育はありますが、乳幼児期に培ったものが、学童期に開花するのが教育です。だからこそ乳幼児期の教育に力を入れて欲しいというニーズがあるのですが、それぞれの教育方針に合わせてどこに預けるか、保護者が選ばばいいと思います。</p>
会長	<p>質問というよりは、加藤委員の保育に対する考えを述べて頂きました。保護者が保育園を選択する際、教育の成果を重要な判断材料とする人は多いですが、それらは成長過程でのスペックの1つでしかないということは伝わりにくいです。当会議で保育や教育の議論をすることは難しいですが、教育的視点を採り入れながら、支援の質を高めていきたいと思えます。</p> <p>また、自由記述には「時間を長くして欲しい」「経済的支援が足りない」「家から遠い」等、質よりも可視化しやすい量的な要望が多く、質の重要性は伝えにくいですが、大切にしていきたいと思えます。</p> <p>今後、ニーズに応じた量の調整をしながら、時には教育の質の問題に立ち返りつつ、計画を策定したいと思えます。そのためにも活発な意見をお願いいたします。</p> <p>それでは、アンケート報告書の公表は、この形で進めていただきたいと思えます。</p>

会長	<p>続きまして、議題(3)は、前回計画の骨子について、お認めいただきましたが、「子ども・子育て支援事業計画」と「次世代育成計画」の関係について、体系の整理に関する資料になるかと思えます。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	(資料3により説明)
会長	<p>ありがとうございました。計画案骨子について説明がありました。これは確定したものではなく、検討案です。文言や矢印の向き等何かあれば、指摘いただきたいと思えます。</p> <p>ただ今の事務局の説明について、何かご質問があればお願いいたします。</p> <p>少し質問します。資料3の1枚目に記載されている「総合計画の計画人口実現のためのチャレンジ」についてですが、尾張旭市に計画人口が定められたということですか。</p>
事務局	<p>そうです。「第5次総合計画」が今年度から計画策定期間に入り、昨年度末から計画を作りました。尾張旭市の人口は、現在約8万2千人ですが、10年後には横ばいかやや減少すると予測されております。「第5次総合計画」(平成26～35年度)は10年計画で、推計値の減少幅は小さいですが、減少することを前提とせず、子育てや高齢者等支援の充実で、人口を増やしていきたいと考えております。計画人口は8万4千人で、現在より2千人増やす計画でございます。計画人口を実現するための5つのチャレンジのうち、2つが子ども・子育て支援に関連しております。</p>
会長	<p>国全体のあり方もあると思えますが、ぜひ実現させて欲しいと思えます。</p>
事務局	<p>先日、新聞で「消滅都市」についての記事を読みました。今後20年で、子どもを産める女性の数が半分以下になる市町村が全国で5割を超え、消滅する都市が出てくるという内容です。日本創成会議の有識者会議では、尾張旭市の子どもを産める女性の数はマイナス23%。県内では75%減少する地域もあり、7市町村以上が5割を切ります。愛知県内で唯一プラスになった日進市は、全国的にもトップクラスの人口増加都市です。これらの数値は、国勢調査の人口がベースになっております。尾張旭市は全国対比で減少幅は緩やかであるとはいえ、減らさずに、増やしていきたいと考えております。</p>
会長	<p>官民挙げて取り組まないと難しいですね。</p>

事務局	<p>10年で必ずしも23%減るわけではありませんが、先ほど加藤委員からもありましたとおり、子育て支援施策は色々ありますので、こども課だけでは限界があります。色々な取り組みをすればするほど、人もお金も必要になりますので、市全体で連携することが大切かと思います。</p> <p>健康福祉部では、他にも高齢者福祉計画、障がい者福祉計画、健康あさひ21計画のアンケートを実施しました。自由記載欄を必ず付けるようにし、様々な声をいただきました。個別の事情や状況を全て把握できるわけではありませんが、こう考えたり、思ったりした人がいることを庁内で共有したいと考えております。</p> <p>毎週、市長をはじめ幹部職員が集まる会議をしておりますので、自由記載も含めて、アンケートの結果を庁内で共有し、連携を進めたいと思っております。</p> <p>結果として目に見える形になるかどうかはわかりませんが、市としての新しい方向性等、決めていきたいと思っております。</p>
会長	<p>全体として住みやすいまちを目指す中で、子どもを産み育てやすいまちとして考えることは大変ありがたいことだと思います。</p> <p>その他はいかがでしょうか。</p>
加藤委員	<p>確認ですが、資料3の体系の中身については、これから決めるということよろしいですか。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
加藤委員	<p>若杉部長の話にもありましたが、アンケートの回答を見ると、少数ですが、今困っていることへ、すぐに対応を求める要望があります。今に答えないといけないと思います。</p>
事務局	<p>今困っていることは、後からでは意味がないですね。</p>
加藤委員	<p>決められた時間・決められたお金の中で、今に答えるのは難しいです。業務外になることもあります。保護者の気持ちに寄り添うという姿勢での支援が欠かせません。支援が体制としても付いてくるのが一番なのですが。</p> <p>「目に見える形になるかどうかはわかりませんが」とおっしゃいましたが、人の命に関わることなので、皆がそういう気持ちで取り組めると良いと思います。</p>
事務局	<p>「保育園では手に負えない時、保育園以外でどこかないか」「子育て支援室で、誰か支援してくれるボランティアがいらないか」など職員は目の前の仕事以外のことや自分で責任を負えないことに手を出さない傾向があります。そんな時、「市全体で何とかならないか」「自分の知っている民間のサービスで手助けになることはないか」等を考えられれば、多少は違ってくるのではないかと自由記載を見て感じました。</p>

会長	<p>我々は鳥の目を持って計画を作っていきますが、蟻の目も忘れずにきめ細やかな計画づくりを心掛けたいと思います。</p> <p>その他はいかがでしょうか</p>
村瀬委員	<p>就学前アンケートの自由記載に、「名古屋市のトワイライトを実施して欲しい」という要望が度々出てきます。児童クラブは勤務が週3日であれば、その3日しか利用できません。就労の点数で振り分けられるのではなく、仕事の時間が短い方でも利用できるトワイライトがあっても良いのではないかと思います。</p> <p>また、子ども教室への要望が多いです。公園で遊んでいる子どもは少なく、多くの子どもは家でゲームをしています。親が勤務をしていてもしていなくても、子どもにおいては平等に、同じ場集える仕組みがあっても良いのではないかと思います。</p> <p>現在、子ども教室は城山のみで実施していますが、子ども同士の関わりを増やすためにも、放課後児童クラブと子ども教室との併用等を、市では考えていないのですか。</p>
会長	放課後子ども教室はいかがでしょうか。
事務局	<p>城山の小学校で行っている子ども教室は、親の勤務状況とは関係なく始まった取り組みです。尾張旭市は、全小学校区に児童館があり、公民問わず児童クラブがあり、これらをどうするか検討いたしました。今のところ、放課後子ども教室を推進するのではなく、放課後の児童の預かり・遊び場としては児童館主体で、保護者が働いている児童の預かりは、公民問わず、児童館と放課後児童・学童クラブで対応する方向です。</p>
村瀬委員	<p>放課後児童クラブは働く保護者の子どものみの預かりですが、名古屋市のトワイライトは勤務条件の制約がなく、希望すれば入れます。どこまでやっても一緒と言われればそれまでです。アンケートの回答を見て、希望が多いと感じました。</p>
事務局	<p>まさに、トワイライトという言葉がたくさん出てきました。尾張旭市の場合、児童館は一旦自宅に帰ってから行くので、自宅が遠い子は来られず、利用しづらい問題があります。多くの意見が寄せられていることは、真摯に受け止めなければいけないと思っております。</p>
村瀬委員	<p>拘束がなく、誰でも希望すれば利用できるのなら良かったが、児童クラブは点数的な制約を受けます。この問題が子ども教室を設置する際も問われました。このような意見が多く寄せられたのも同様です。市の考え方を教えて欲しいです。</p>

事務局	<p>現在、「量の見込み」等計画策定について議論していただいておりますが、一度、放課後の子ども対策について意見をいただく場を設けたいと考えております。機会をしっかりと設けられるかどうかわかりませんが、アンケートでこれほど多くの意見が寄せられておりますので、何か対応を検討したいと思っております。民間の学童とどう共存するか等様々なことを検討していく必要がありますが、住民からの要望だけで実施を決めることも難しいので、どこかで一度意見等を伺いたいと思っております。</p>
会長	<p>その他はよろしいでしょうか。</p>
秋田委員	<p>児童クラブは就労状況で利用の可否が決まりますが、学童クラブは誰でも入れます。民間、つまり保護者の経営なので、先生の手配等、市の委託金だけでは運営が難しく、経費等を切り詰めながらやっています。子どもの受け入れは可能ですが、少しお金はかかります。</p> <p>我々保護者も、質の高い豊かな放課後を過ごせるよう力を入れています。編み物やベーゴマ、工作等、児童館ではできないことを経験させ、核家族で、兄弟が少ない家庭も増える中、異年齢で深く関われる教育カリキュラムを組む方針です。対価で比較されてしまい、うまくアピールできていないと思います。評価してもらえないのは残念なことです。また、トワイライトのように安価で、しかも学校内という安全な環境で預かることができないことも残念です。</p> <p>ここで発言することで、まずは皆さんに知っていただけたらと思います。</p>
会長	<p>まだ周知が充分でないのかもしれませんがね。</p>
秋田委員	<p>金銭面で敷居が高いのかもしれませんが。まずは公的な児童クラブを利用し、さらに勤務時間等の都合で間に合わない方が19時までの学童を利用します。利用していただければ、費用負担よりも充実したサービスを実感してもらえるのではないかと思います。働く親が多い中、子どもたちに少しでも豊かな教育を提供できたら、役に立てたらと思います。</p>
会長	<p>それでは、次第4「その他」について、事務局より何かございますか。</p>
事務局	<p>(参考資料1により説明)</p>

会長	<p>理解して数値化するのは難しい側面と、機械的にアンケート結果の数値を入れている部分にどれだけ血を通わせられるかが重要になってくると思います。本日示したのは、手引きに則り、算出した量です。就学前のイメージと、入学後に親御さんが実際に学校で見た現状の間に大きなかい離があります。算出値には、ある程度の修正が必要だと思います。</p> <p>理解が進まず、質問以前の段階という感じもありますが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次回会議について事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>次回の会議につきましては、当初7月頃の開催を予定しておりましたが、7月もしくは8月の開催で調整させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>本日は、長時間に渡り慎重に熱心にご審議いただきありがとうございました。</p> <p>自由記述から大きな期待をいただいていることがわかります。次回会議ではより一層慎重に、実りある議論をしていただき、良い計画にしていきたいと思っております。</p> <p>これをもちまして、第4回尾張旭市子ども・子育て会議を閉会いたします。</p> <p>皆さま議事進行にご協力いただき、大変ありがとうございました。</p>